

昭和三十年十一月公表

財政事情

広島市役所

広島市告示第百十七号

地方自治法第二百四十四条第一項及び広島市「財政事情」の作成及び公表に関する条例の規定により、本市の「財政事情」を次のように公表する。

昭和三十年十一月三十日

広島市長 渡邊 忠 雄

目 次

まえがき

一 本市財政の動向

二 昭和二十九年度の財政状況

(一) 収入支出の状況

- (1) 昭和二十九年収入支出一覽表
- (2) 昭和二十九年収入支出状況概書
- (3) 昭和二十九年使途別経費一覽表

(二) 市民の負担状況

三 昭和三十年度の財政状況

- (一) 予算の概要並びに収入支出の状況
 - (1) 昭和三十年度予算一覽表
 - (2) 昭和三十年度予算概算
 - (3) 昭和三十年度予算概要並びに収入支出の状況

(一) 財産・公債及び一時借入金の状況

(1) 市有財産

(2) 公債

(3) 一時借入金

むすび

まえかき

前回は、主として昭和二十九年度の予算並びに収入・支出の状況について公表いたしましたので、今回は、これが決算の状況並びに昭和三十年年度の予算の概要及び収入・支出の概況（昭和三十年九月末日現在）について、市民の皆様とその実情をお知らせするとともに、今後の市政運営に関し、なお一層の御協力をお願いする次第であります。

一 本市財政の動向

今日の地方財政が極度の逼迫を来たしてありますことは、前回までの財政事情の公表より既に
 より御承知のことと存じます。

さて、本市も昭和二十七年年度までに累積いたしました三億二百七十一万二千四百の赤字額を解
 消すべく、昭和二十八年年度から財政再建計画を立て、行政機構の合理化、自然退職その他によ
 る人員の不補充並びに經常物件費の節減、また、収入面において市税の完全徴収、新規財源の
 獲得等極力赤字の解消に努力いたしました結果、若干ではあります但し昭和二十八年年度において
 二千六百三万六千四百、昭和二十九年年度において三千百七十二万八千四百の赤字を解消いたしまし
 ました。

なお、昭和二十九年年度の決算状況について申し述べますと

最終予算額	決算見込額		歳入出	基金積立	繰上充用額	赤字
	歳入	歳出				
三、五、〇、六、八、八 <small>千円</small>	二、九、〇、五、六、三、七 <small>千円</small>	三、〇、五、五、七、六、二 <small>千円</small>	△一、五、〇、一、二、五 <small>千円</small>	七 <small>千円</small>	一、五、〇、一、三、二 <small>千円</small>	九、四、八、一、八 <small>千円</small>
						二、四、四、九、四、八 <small>千円</small>

但し、特別会計公益質屋費・市民病院費・競輪事業費を除く

となつており、これを昭和二十八年年度の決算

最終予算額	決算		歳入出	基金積立	繰上充用額	赤字
	歳入	歳出				
三、一、六、六、八、五、四 <small>千円</small>	二、五、九、〇、九、二、九 <small>千円</small>	二、六、六、一、五、六、四 <small>千円</small>	△七、〇、六、三、五 <small>千円</small>	五 <small>千円</small>	七、〇、六、四、〇 <small>千円</small>	二、〇、六、〇、三、八 <small>千円</small>
						二、七、六、二、七、六 <small>千円</small>

但し、特別会計公益質屋費・市民病院費・競輪事業費を除く

と比較いたしますと、昭和二十九年年度において三千百七十二万八千四百の赤字を解消した結果と
 なります。

次に、おもな特別会計について申し述べますと、先づ市民病院であります。開院以来、経
 営の成績は年々向上しておりますが、施設及び初年度調剤費に相当多額の経費を要しましたため
 決算においてはそれれ次の表の通りであります。

年 度	最終予算額	決算 (見込) 額		歳入出	赤字
		歳入	歳出		
昭和二十七年年度	三、八、八、八、二 <small>千円</small>	一、二、九、六、三 <small>千円</small>	三、五、二、九、二 <small>千円</small>	△二、二、三、三、九 <small>千円</small>	△二、三、三、三、九 <small>千円</small>
昭和二十八年年度	五、七、五、八、七	三、九、六、三、四	五、一、九、四、一	△一、二、三、〇、七	△一、三、三、一、七
昭和二十九年年度	九、一、九、五、三	六、七、四、六、七	八、二、三、八、〇	△一、四、九、一、三	△二、五、九、六、八

しかしながら現在では、施設等も一応整備され経営状況も益々向上しつつある現状であります。

次に、本市財政の窮乏を打開する方途として開設した競輪事業は、開設以来着々所期の成績をあげ、二十九年度においては建設経費の全額を償還し、更に一千七百七十九千円の純益金を生じ、次の表の通り学校、住宅等の建設财源に充当することかできました。

年 度	最終予算額	決 算 (見込) 額		歳入 出 差引 額	前年度 剰余額	備 考
		歳 入	歳 出			
昭和二十七年 度	五三五、二九〇	一五四、四〇八	一九四、三六三	△三九、九五五	△三九、九五五	
昭和二十八 年度	八五〇、〇五五	六一一、二五六	六三四、七七一	△一三、四四五	二六、五一〇	建設費償還に充当
昭和二十九 年度	七四七、三六六	五三八、一七八	五二二、〇九九	一七、〇七九	三〇、五三四	建設費償還に充当 学校住宅建設に充当 一、三、四、五、千円 一、六、七、九、千円

なお、昭和二十九年度の財政状況及び昭和三十年度の九月末日現在の予算執行状況は、次の通りであります。

昭和二十九年年度の財政状況

(一) 収入支出の状況

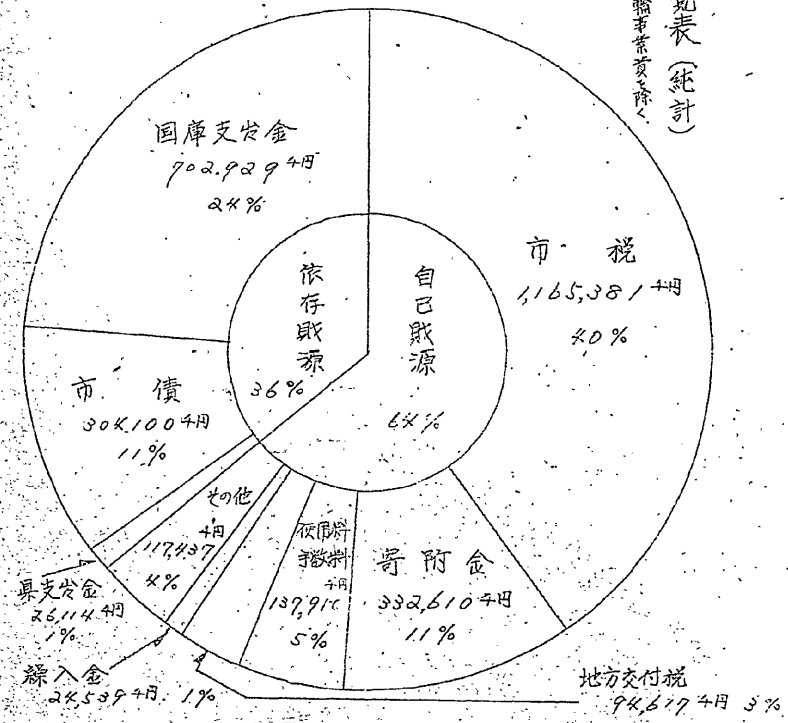
(1) 昭和二十九年年度収入・支出一覽表(純計)

但し特別会計(無償事業)官民協同施設費(運輸事業費)除く

収入

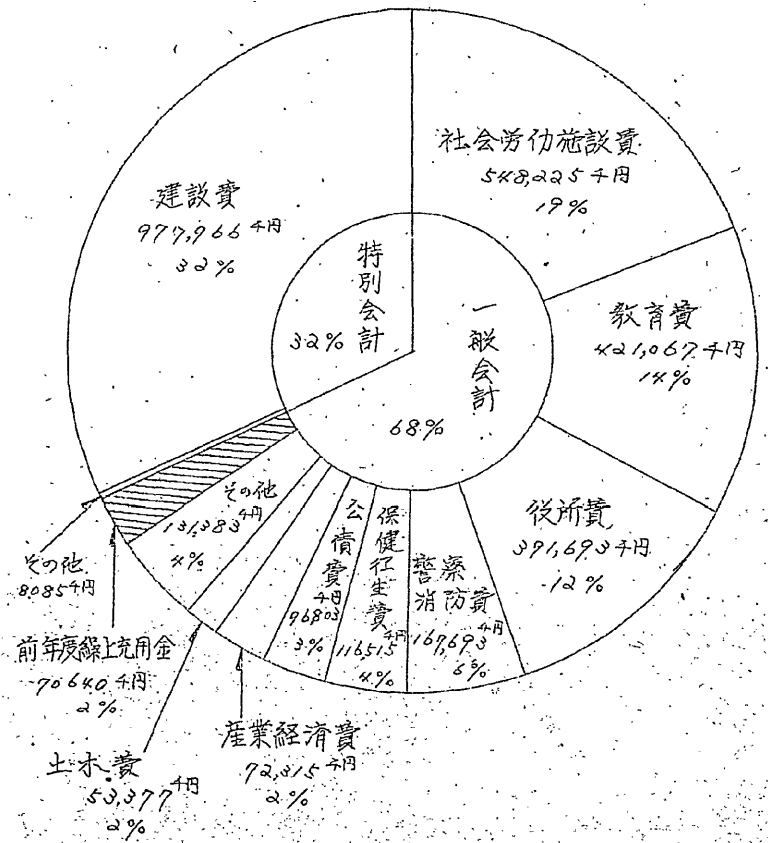
総額 2,905,637 千円
 自己取源 1,872,494 千円
 依存取源 1,033,143 千円

翌年度歳入繰上充用金 150,132 千円



支出

総額 3,055,762 千円
 一般会計 2,069,711 千円
 特別会計 986,051 千円



(2) 昭和二十九年年度各会計別收入支出状況調査書

一般会計

收入

支出

科目	目	市		普通	旧公債より種収入	地方交付税	公企業及取戻金	分担金及負担金	使用料及手数料	国庫支出金	県支支出金	寄附金
		当初予算額	最終予算額									
科目	目	当初予算額	最終予算額	1,000,000	4,900	2,200,000	2,000,000	-	1,200,000	4,900,000	2,000,000	2,000
		1,000,000	1,000,000									
市	税	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,900	2,200,000	2,000,000	-	1,200,000	4,900,000	2,000,000	2,000
普通	税	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,900	2,200,000	2,000,000	-	1,200,000	4,900,000	2,000,000	2,000
旧公債より種収入				1,000,000	4,900	2,200,000	2,000,000	-	1,200,000	4,900,000	2,000,000	2,000
地方交付税					4,900	2,200,000	2,000,000	-	1,200,000	4,900,000	2,000,000	2,000
公企業及取戻金						2,200,000	2,000,000	-	1,200,000	4,900,000	2,000,000	2,000
分担金及負担金							2,000,000	-	1,200,000	4,900,000	2,000,000	2,000
使用料及手数料								-	1,200,000	4,900,000	2,000,000	2,000
国庫支出金								-	1,200,000	4,900,000	2,000,000	2,000
県支支出金								-	1,200,000	4,900,000	2,000,000	2,000
寄附金								-	1,200,000	4,900,000	2,000,000	2,000

繰入金	繰越金	雑収入	市債	合計	繰入金	繰越金	雑収入	市債	合計

科目	目	支		支額	備	考
		当初予算額	最終予算額			
科	目	当初予算額	最終予算額	支額	備	考
議	会費	3,000,000	3,100,000	3,000,000		
役	所費	3,800,000	4,000,000	3,800,000		
公平	委員会費	200,000	200,000	200,000		
警	察消防費	2,200,000	2,200,000	2,200,000		
土	木費	700,000	700,000	700,000		
教	育費	3,700,000	3,700,000	3,700,000		
社会	労働施設費	2,000,000	2,000,000	2,000,000		

特別会計建設費

科目	当期予算額	最終予算額	予算比	収入額	最終決算額	備考
保健衛生費	九七四六八	一五八八三	五七	一一五一一	七五二	
産業経費	六三〇九七	八八九三	三三	七三三	八二	
財産費	三三〇三六	三三〇三六	一〇〇	二〇六四	三三六	
統計調査費	三三三〇	三三三〇	一〇〇	一三三七	三二二	
送挙費	一一〇四九	一〇一七六	七〇	一〇八二	九三	
公債費	九六八六九	九六八六九	一〇〇	九六八〇三	九六九	
輸送費	四二二〇	四二二〇	一〇〇	三〇〇六	七二六	
監査委員費	三〇四七	三〇四七	一〇〇	二六六	一〇三	
災害復旧費	五〇八二八	三三〇八〇	六五	二九三四〇	八〇三	
諸支出金	二〇〇七二	四〇六二七	二〇	三三九四	八三	前年度繰上先入金 七〇六四〇千円 特別会計繰出金 二二七七〇千円
予備費	三〇〇〇	二二二二	七四			
合計	二二五三三三	二七二四三三	一二	二二〇七四一	八三二	収入支出差引不足額 一五二八千円 繰入金 一五二八千円 繰上先入金 一五二八千円

収入

科目	当期予算額	最終予算額	予算比	収入額	最終決算額	備考
公企業及財産収入	一	五八〇五九	五八	四四一七	七二	
使用料及手数料	一〇〇	一一一	一一	一〇六	九二	
国庫支出金	二二八五九	二五一四四	一一	二〇一五三	九五九	
特別入金	一七三〇五	二八〇四四	一六	三三七三九	八四二	
繰越金	一	一	一〇〇			
雑収入	一	一	一〇〇			
雑収入	三三三	三三三	一〇〇	三三三	三三三	
徴収金	二二六七二	九三七九	四三	八三三	八八七	
市債	一九〇〇〇	一六三六〇〇	八六	一六三六〇〇	九九四	
県支出金	一	三〇七	三〇			
寄附金	一	三三〇〇〇	三三	三三〇〇〇	一〇〇〇	
合計	二二六六八二	一〇九〇九二	四八	九七九九六	八九六	

支出

公債	第一期下水道建設費					住宅建設費	下水道施設費	防火建築費	建設諸費	不良住宅改良費	路面鋪裝費	緊急救済料費	任意地造成費	公債建設費
	債費	費	費	費	費									
九一三〇〇	九二六〇三	八五	九三三九一	九九七	一三六八三〇	四〇〇〇〇	三〇〇〇	四三三九二	三三〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	
三〇〇〇〇	四四〇〇〇	一四	三〇〇〇	〇	四〇〇〇〇	三〇〇〇	一〇〇〇	三〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	
一三〇〇〇	一〇七〇一	一七	一〇七〇一	〇	一三〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一三〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	
三三〇七五	二二七六七	二七	二二七六七	四	三三〇七五	一〇〇〇	一〇〇〇	三三〇七五	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	
七六六七四	九八〇二八	三	七六六七四	四	七六六七四	一〇〇〇	一〇〇〇	七六六七四	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	
三〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	三三	三〇〇〇〇	〇	三〇〇〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	三〇〇〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	
一〇七〇一	一〇七〇一	一三	一〇七〇一	〇	一〇七〇一	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇七〇一	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	
一〇七〇一	一〇七〇一	一三	一〇七〇一	〇	一〇七〇一	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇七〇一	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	
一〇七〇一	一〇七〇一	一三	一〇七〇一	〇	一〇七〇一	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇七〇一	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	
一〇七〇一	一〇七〇一	一三	一〇七〇一	〇	一〇七〇一	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇七〇一	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	

科	目	當初予算額	最終予算額	多算額 百分比	支出額	最終予算 多算額 百分比	備考
建設費	復興土地	四四九六八	九〇七二七	八三二	八二五五八	八九七	
	區區整理費	六六三六	一〇三三三	九五	六六三六	六六三六	
	廣平町附近土地	一〇〇〇〇	一五〇〇〇	五〇	四七六八	四七六八	
	區區整理費	四九九三	三〇八二	〇三	三〇八二	三〇八二	
	幹線街路費	一〇九二	一〇九二	〇	一〇九二	一〇九二	
	補助街路費	一〇九二	一〇九二	〇	一〇九二	一〇九二	
	瓦斯及軌道費	一六三三〇	一六三三〇	〇	一六三三〇	一六三三〇	
	公共空地整備費	三九三〇	三九三〇	〇	三九三〇	三九三〇	
	水路費	三〇〇〇	三〇〇〇	〇	三〇〇〇	三〇〇〇	
	排水施設整備費	三九八	三九八	〇	三九八	三九八	
	橋梁費	四三〇	四三〇	〇	四三〇	四三〇	
	記念館建設費	三九九三	三九九三	〇	三九九三	三九九三	
	記念公園建設費	三九九三	三九九三	〇	三九九三	三九九三	
	都市公共施設整備費	一五九四	一五九四	〇	一五九四	一五九四	

合	計	六二六六三	一〇九〇九三	一〇〇〇	九六〇〇九	八八〇
---	---	-------	--------	------	-------	-----

特別会計 公益質屋費

科	目	当初予算額	最終予算額	予算対比	収入額	最終予算対比	備考
貸付金より生じた収入		一八〇〇〇	一八〇〇〇	九二%	一三三〇〇	七〇%	
雑収入		一	一				
貸付金戻入		一八〇〇〇	一八〇〇〇	九〇%	一〇〇一八	五五%	
繰入金		一	一				
前年度繰越金		一	一		一四九〇		
合	計	一八〇〇三	一八〇〇三	一〇〇%	一三七八八	七四%	

支出

科	目	当初予算額	最終予算額	予算対比	支出額	最終予算対比	備考
事務費		一一一	一一一	五六%	六九三	六三%	

特別会計 社会保険広島市民病院費

貸付金		一八〇〇〇	一八〇〇〇	九〇%	一〇三〇九	五七%	
公債費		六九〇	六九〇	三五%	六五三	九四%	
諸支出金		一	一				
予備費		一	一				
合	計	一九八〇三	一九八〇三	一〇〇%	一一〇五四	五六一%	翌年度へ繰越 一一二四千元

収入

科	目	当初予算額	最終予算額	予算対比	収入額	最終予算対比	備考
国庫支出金		一	一				
使用料及手数料		八七一六	九一四〇六	九九%	六六九七	七三%	
寄附金		一	一				
雑収入		五四五	五四五	〇%	四八九	八九%	
合	計	八七一七	九一九三	一〇〇%	六七四七	七三%	

支 出

科 目	支 出		備 考
	当 初 予 算 額	最 終 予 算 額	
病 院 費	八七三二五	九一四三三	千円 百分比
業 務 費	七三九六一	七七一九九	千円 百分比
諸 費	一四二四四	一四二五四	千円 百分比
予 備 費	五〇〇	五〇〇	千円 百分比
合 計	八七七一五	九一九五三	千円 百分比
支 出 額	八三三八〇	八三三八〇	千円 百分比
備 考			
收入支出差引不足額	一四九一三	一四九一三	千円

特別会計 競輪事業費

收 入

科 目	收 入		備 考
	当 初 予 算 額	最 終 予 算 額	
競 輪 事 業 收 入	七四七三三	七四三三〇	千円 百分比
使用料及手数料	一一八	一一八	千円 百分比
入場料収入	一一八	一一八	千円 百分比
合 計	七四八五一	七四四四八	千円 百分比
収入額	七四八五一	七四四四八	千円 百分比
備 考			

支 出

科 目	支 出		備 考
	当 初 予 算 額	最 終 予 算 額	
車券売上収入	七四〇〇〇	七四〇〇〇	千円 百分比
雑 収 入	六三三	六三三	千円 百分比
過年度収入	一	一	千円 百分比
合 計	七四六三四	七四六三四	千円 百分比
支出額	七四六三四	七四六三四	千円 百分比
備 考			

その他の特別会計

科 目	支 出		備 考
	当 初 予 算 額	最 終 予 算 額	
競 輪 事 業 費	七四六三四	七四六三四	千円 百分比
事 務 費	一〇三三三	一〇三三三	千円 百分比
南 催 費	九二二九	九二二九	千円 百分比
諸 費	六三三	六三三	千円 百分比
予 備 費	一〇〇〇	一〇〇〇	千円 百分比
合 計	八二六三〇	八二六三〇	千円 百分比
支出額	八二六三〇	八二六三〇	千円 百分比
備 考			
一般会計繰入金	一七〇七九	一七〇七九	千円
前年度繰上金	一三四五	一三四五	千円

收

入

會計別	當初予算額	最終予算額	收入額	最終予算額	備
用品調達費	1,214.5	1,214.5	935.4	1,319.0	
奨学資金	2	2	2	1,000	基金(繰入) 3,000
史業対策事業直格 借入金 職貸付資金	180	180	120	136	
天竺町外部基金賦金	1	1	1		
合計	1,307.5	1,307.5	947.7		

支

出

會計別	當初予算額	最終予算額	支出額	最終予算額	備
用品調達費	1,214.5	1,214.5	795.5	724.0	翌年度へ繰越 1,389.0
奨学資金	2	2	1	1	
史業対策事業 直格借入金 職貸付資金	180	180	120	136	
天竺町外部基金賦金	1	1	1		
合計	1,307.5	1,307.5	817.5		

繰越分

特別会計建設費 第一期下水道築造事業費本年度支出額

科目	繰越額	支出額	本年度繰越額	備
下水道築造費	1,875.0	1,797.7	803	考

(3) 昭和29年度使途別経費一覧表 (総計)

但し 特別会計・公益質屋費・市民病院費・競輪料費を除く

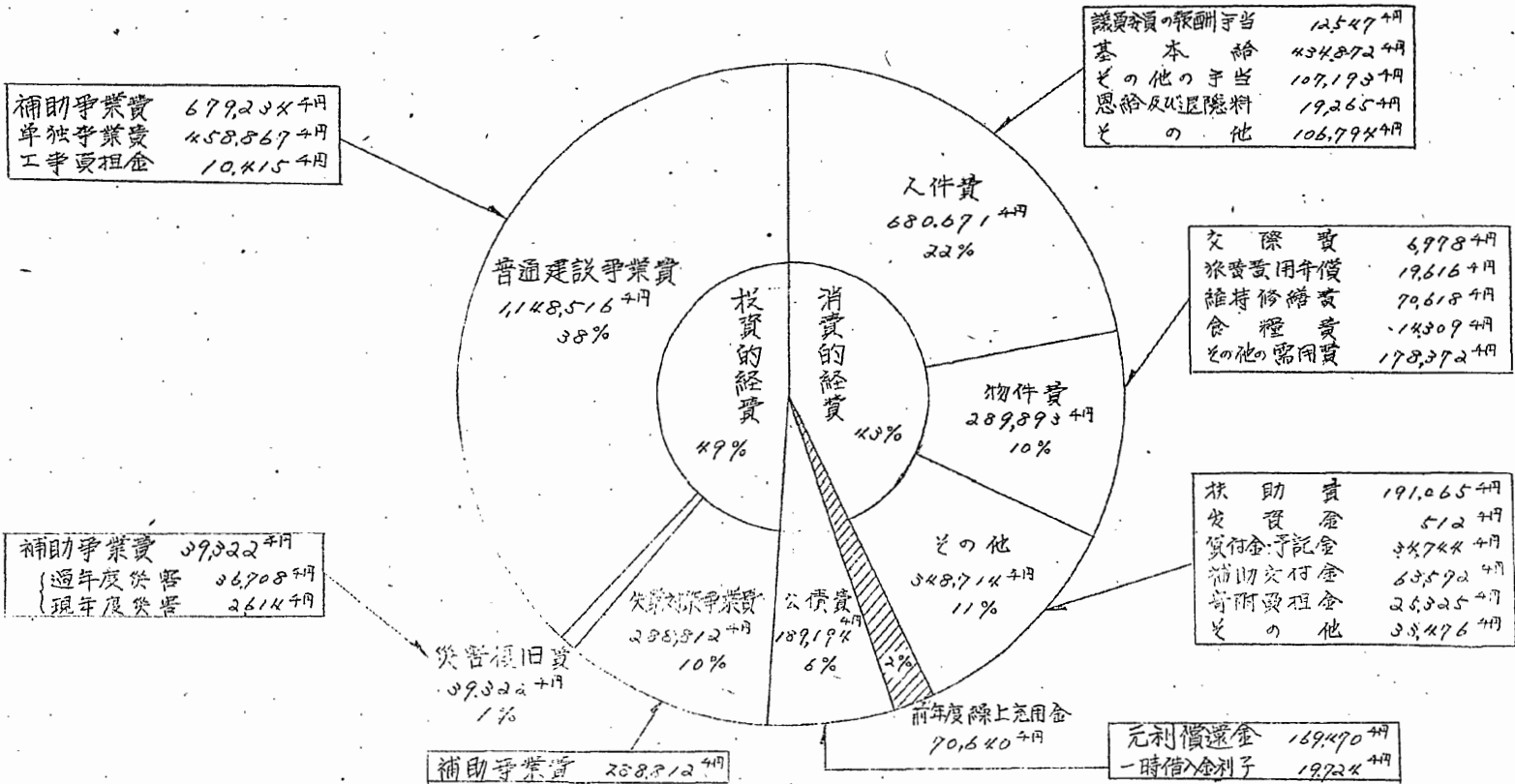
総支発額 3,055,762 千円

消費的経費 1,319,278 千円

投資的経費 1,476,650 千円

公債費 189,194 千円

前年度繰上充用金 70,640 千円



補助競争業費 679,204 千円
単独競争業費 458,867 千円
工事賃借金 10,415 千円

補助競争業費 39,322 千円
{ 過年度災害 36,708 千円
{ 現年度災害 2,614 千円

補助競争業費 288,812 千円

元利償還金 169,490 千円
一時借入金利息 19,724 千円

昭和29年度市税1人当り・1世帯当り負担額

昭和30年3月31日現在

人口
世帯数

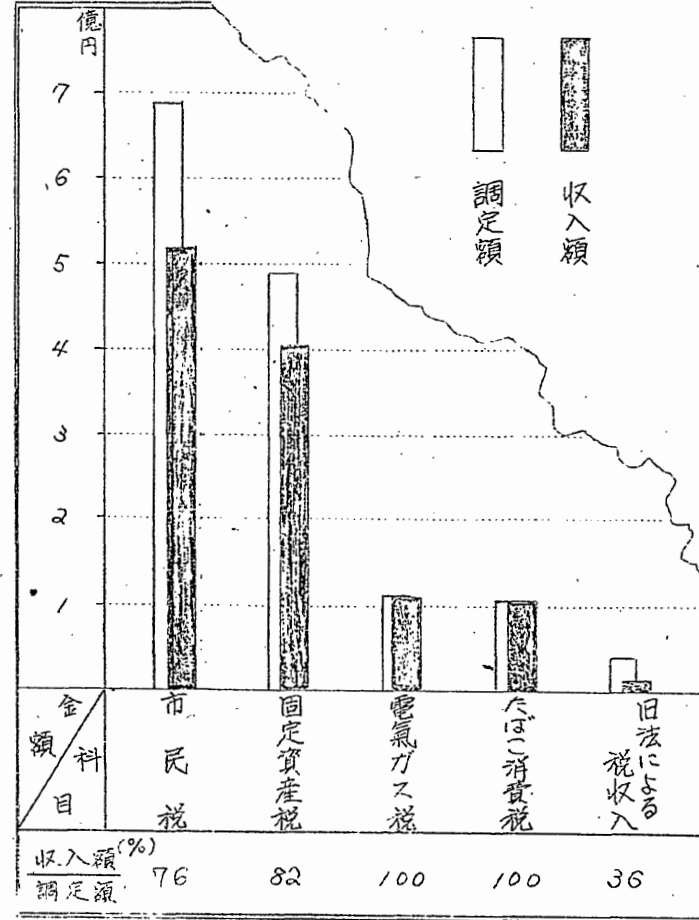
343,552人
90,369世帯

税目	負担額	
	1人当り	1世帯当り
市民税	1,518円	5,772円
固定資産税	1,180	4,485
電気ガス税	335	1,276
たばこ消費税	319	1,212
旧法による 税収入	39	151
計	3,391	12,896

昭和29年度市税徴収状況調

予算額 1,152,409千円
 調定額 1,444,462千円
 収入額 1,165,381千円

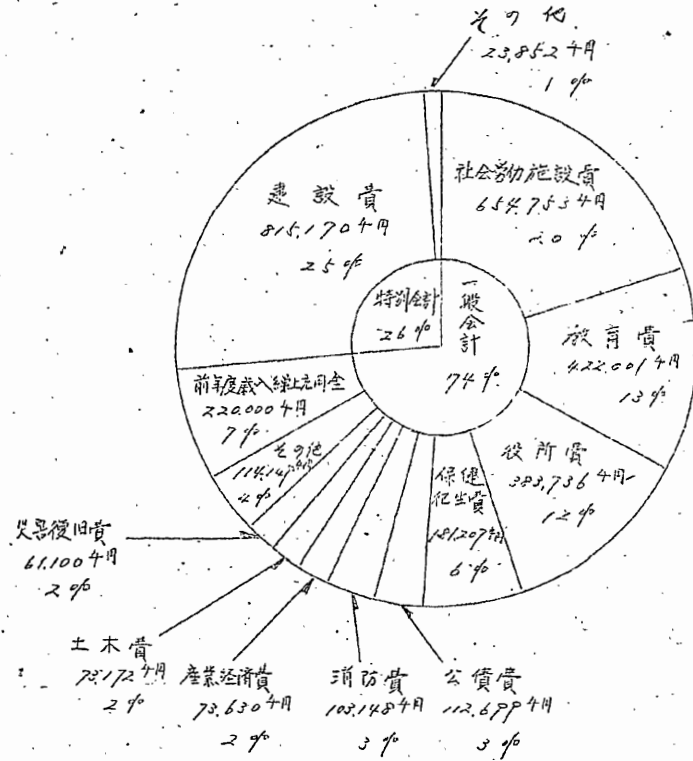
$\frac{\text{収入額}}{\text{予算額}} = 101.1\%$
 $\frac{\text{収入額}}{\text{調定額}} = 80.6\%$



(二) 市民の負担状況 (市税)

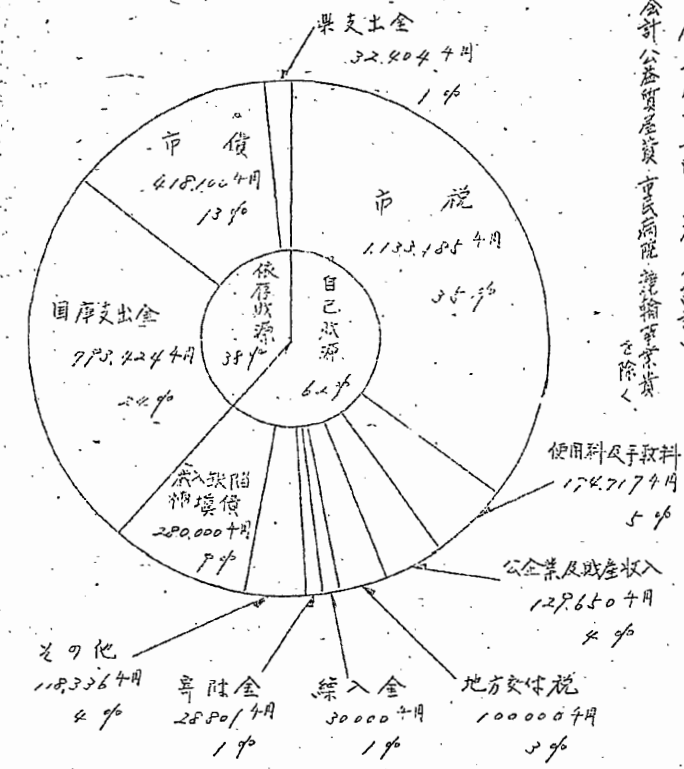
歳 出

歳出総額 3,238,617円
 一般会計 2,399,595円
 特別会計 839,022円



歳 入

歳入総額 3,238,617円
 自己財源 1,994,689円
 依存財源 1,243,928円

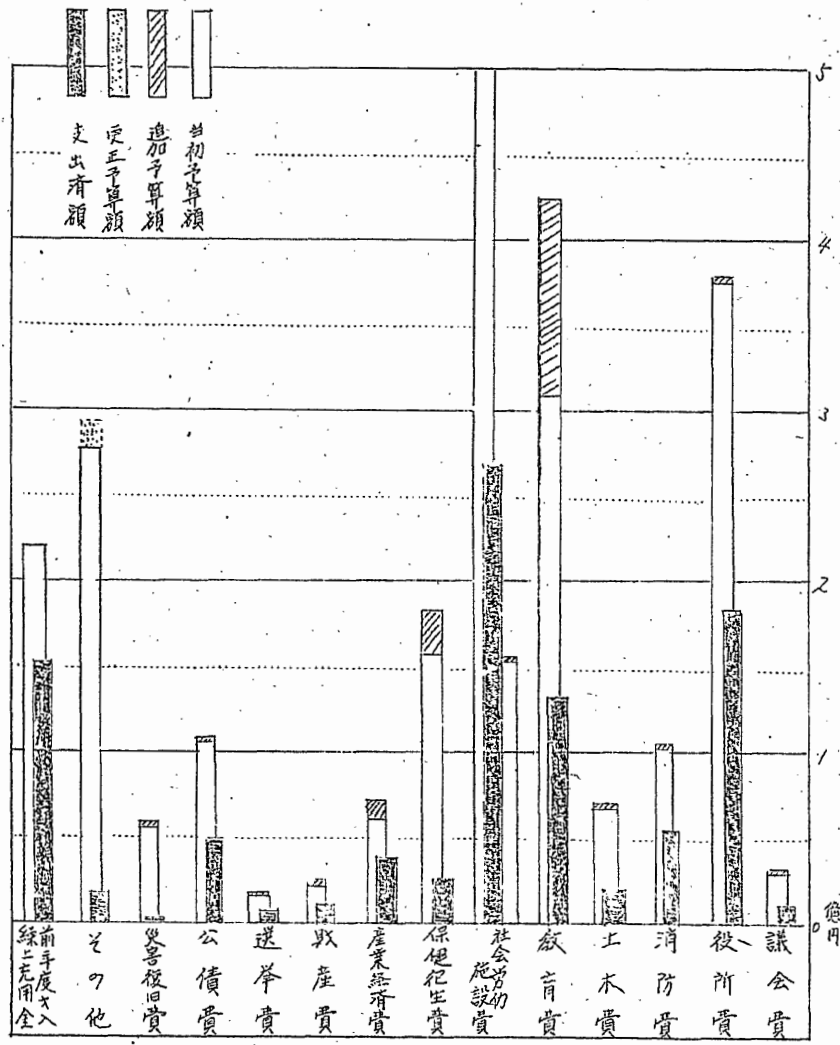


(1) 昭和三十年年度予算一覽表 (統計)
 但し特別会計公益質屋敷官吏病障滞輪等費を除外

三 昭和三十年年度の財政状況
 (一) 予算の概要並びに収入支出の状況

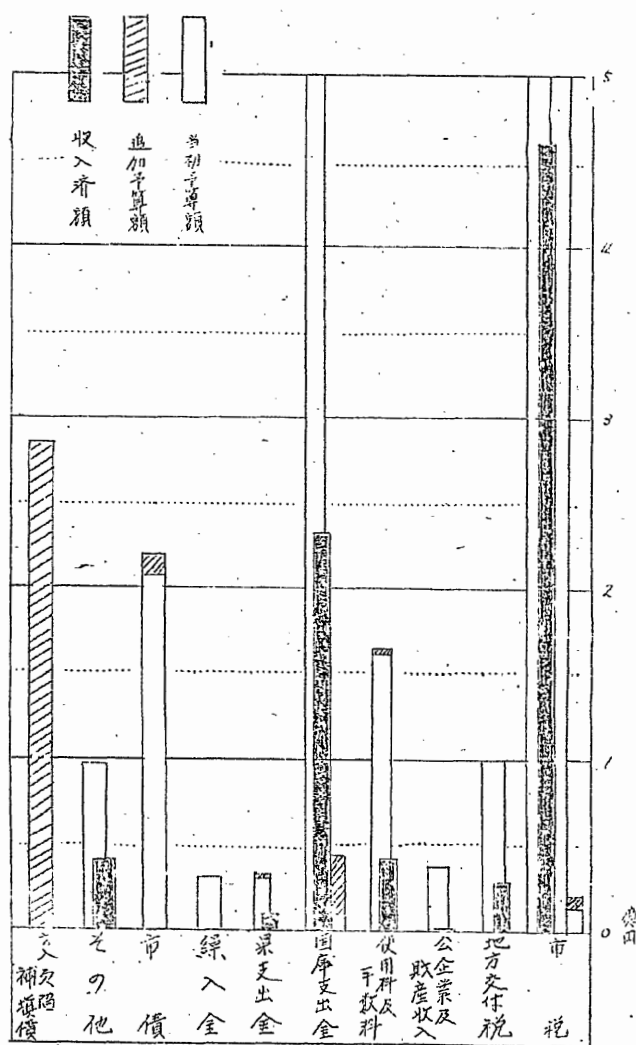
歳 出

昭和30年9月30日現在



歳 入

昭和30年9月30日現在



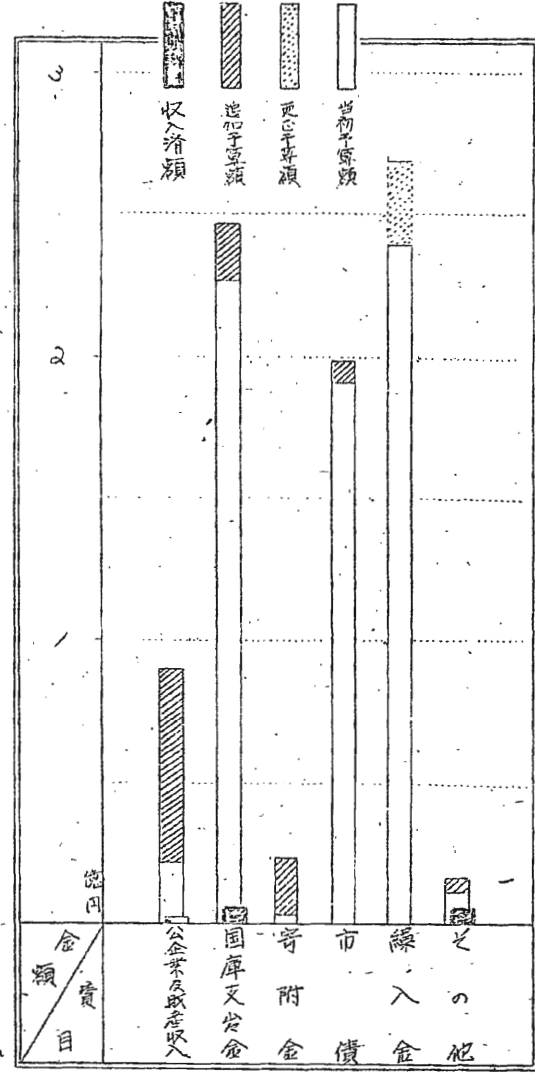
(5) 昭和三十年度各会計予算概要並びに収支状況
一 概 会 計

億円

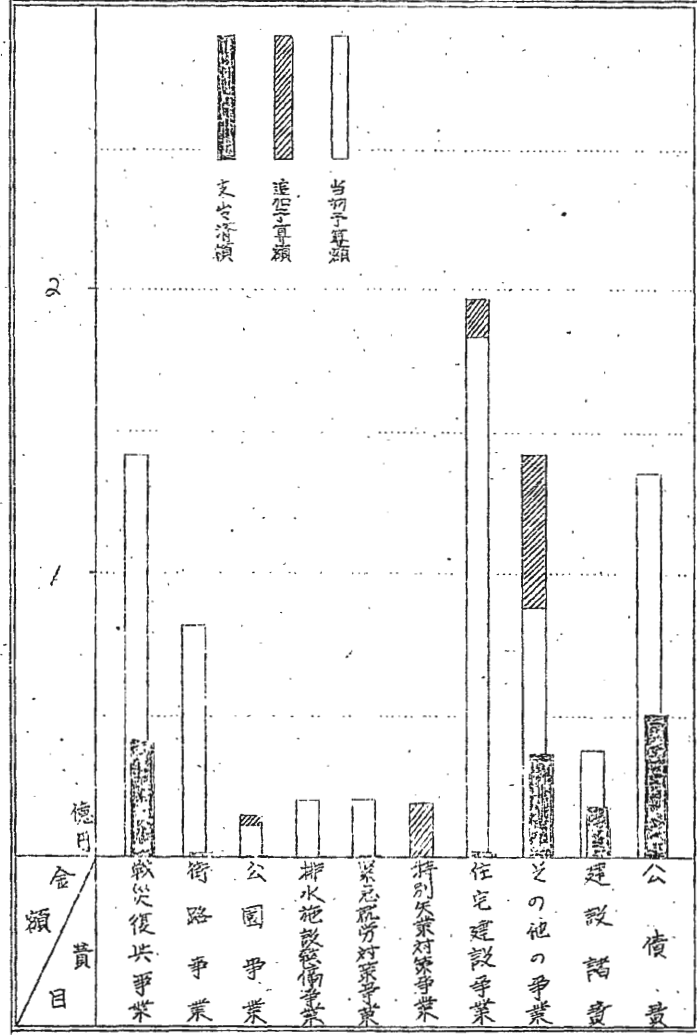
特別会計

建設費

入 歳



出 歳



公益質屋賃

科 目	歳 入		歳 出		備 考
	当初予算額	現在予算額	九月末現在収入額	収入額 予算額	
貸付金より 生ずる収入	二二〇八	二二〇八	二九三	一三三	
貸付金戻入	一九二〇〇	一九二〇〇	一九九三	一〇二	
その他	三	三	一一四		前年度繰越金 二二四十日
歳入合計	二二四一一	二二四一一	三三七〇	一五七	

市民病院賃

科 目	歳 入		歳 出		備 考
	当初予算額	現在予算額	九月末現在収入額	収入額 予算額	
事務費	一一七五	一一七五	三三五	二七六	
貸付金	一九二〇〇	一九二〇〇	三五〇〇	一八二	
公債費	一〇三四	一〇三四	五三三	五〇五	
その他	二	二			
歳出合計	二二四一一	二二四一一	四三七八	二四三	

歳 出

科 目	歳 入		歳 出		備 考
	当初予算額	現在予算額	九月末現在収入額	収入額 予算額	
使用料及手数料	七六八四	九二三六四	二七八二〇	三〇一	
その他	九〇二	九〇二	五七	五七	
歳入合計	七七七六六	九三二六六	二八三三七	三〇三	

歳 出

科 目	歳 入		歳 出		備 考
	当初予算額	現在予算額	九月末現在収入額	収入額 予算額	
病院費	七二六六	九二七六六	四二六六九	四五九	
業務費	七二六六	七二六六	三七五九	三五九	
繰上充用金		一五五〇〇	一四二一三	二六	
予備費	五〇〇	五〇〇			
歳出合計	七二六六	九三二六六	四二六六九	四五七	

競輪事業費

歳

入

科目	目	当初予算額	現在予算額	九月末現在 収入額	九月末現在 支出額	備
競輪事業収入		五七九七九五	五七九七九五	八二二二八	一四〇	
役員手当手数料		一七五六	一七五六	二六五	一五一	
入場料収入		一〇〇八	一〇〇八	一七五	一六四	
車券売上収入		五七六〇〇〇	五七六〇〇〇	六〇三三七	一三九	
その他		一〇三一	一〇三一	三五一	五〇	
歳入合計		五七九七九五	五七九七九五	八二二二八	一四〇	

歳

出

科目	目	当初予算額	現在予算額	九月末現在 支出額	九月末現在 支出額	備
競輪事業費		五七九七九五	五七九七九五	八三七二	一四〇	
事務費		一三三五五	一三三五五	四九五	四〇一	
用催費		八九二九八	八九二九八	一八九六八	二二二	
歳出合計		五七九七九五	五七九七九五	八三七二	一四〇	

科目	目	当初予算額	現在予算額	九月末現在 収入額	九月末現在 支出額	備
諸賞		四七六四二	四七六四二	五九七九〇	一三四	
繰出金		三〇〇〇〇	三〇〇〇〇			
予備費		五〇〇	五〇〇			
歳出合計		五七九七九五	五七九七九五	八三七二	一四〇	

その他

会計別	当初予算額	現在予算額	九月末現在 収入額	九月末現在 支出額	九月末現在 支出額	備
会計別	二四〇三	二四〇三	二五五三	二二四	三二九	
奨学資金	二	二	一	一	一	
競取貸付資金	七七三	七七三	二二	二八	五〇	
天瑞町外 卸港有財産	一	一	一			
公会堂費	七二五八	七二五八	三二四六	四三三	一八九〇	
平和記念館費	一	一	二〇四	四六	一〇〇〇	
計	一九四三六	二四〇三	五九二五	二四八	六五九	

巻

巻

逆次繰越分

第一期下水道築造事業費本年度支出額 下水道築造費

科	第一期下水道築造事業費	逆次繰越額	自四月支出額	繰越額	備	考
	本年度支出額	千円	千円	千円		
下水道築造費	三六八〇〇		五九七七	一六二二		

(二) 賤産公債及び一時借入金の状況

(1) 市有賤産

種別	数	量
土地	六五二	坪四〇五
建物	一二九	坪一四六六
基金資金	二四四	千円

(2) 公債

債

借入先別市債現在高調

借入先	当初借入額	昭和三十年九月三十日現在既償還額	昭和三十年九月三十日現在未償還額	百分比	備考
大藏省資金運送部	一四三,〇一三 <small>千円</small>	一七九,〇〇八 <small>千円</small>	一,二五七,八〇五 <small>千円</small>	七三%	
郵政省關西局	二六,二一〇	-	二六,二一〇	一五	
交付公債	九七,六六八	-	九七,六六八	五	
銀行その他	一,二五五,五三三	三,一九一	一,三〇六,四一四	八	
計	一,九七三,三三四	二,一九一,〇〇	一,七五六,三三四	一〇〇	

費目別市債現在高調

費目	当初借入額	昭和三十年九月三十日現在既償還額	昭和三十年九月三十日現在未償還額	百分比	備考
警察消防費	二七,七〇〇 <small>千円</small>	八,五九〇 <small>千円</small>	一九,一一〇 <small>千円</small>	一%	
土木費	四七,六四七	三,六〇三	四三,九四四	二五	
教育費	三,九四三	三,一八八	三,四六五	二〇	

社会労働施設費	五五,三二四	五八,三三三	四,四九九一	二八	
産業経済費	九六,〇〇〇	五,九四二	四三,〇五八	二	
保健衛生費	二八,二六二	二,四九四	二六,七六八	一五	
災害復旧費	一三九,四三一	六,三四五	一三三,〇八六	七	
戦災復旧費	一九,〇〇〇	六,二一八	一三,七八二	一	
その他	二,二三一	一〇,五〇九	一,一二四	一	
計	一,九七三,三三四	二,一九一,〇〇	一,七五六,三三四	一〇〇	

(3) 一時借入金

財政調整資金

借入先	借入金	償還金	残額	借入年月日	利率	備考
広島銀行	一,二〇〇,〇〇〇 <small>千円</small>	-	一,二〇〇,〇〇〇 <small>千円</small>	三〇、四二日	二或四厘	
郵政省簡易保険局	一五,〇〇〇	一五,〇〇〇	-	三〇、二二日	一或八厘	
大藏省資金運用部	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	-	三〇、一七日	一或八厘	

ま す び

以上が、昭和二十九年年度の決算状況並びに昭和三十年年度の九月末日までの財政状況であります。

政府においても、地方財政再建に相当強力な措置を講ずべく、地方財政再建促進特別措置法案を立案し、前期国会以来大きな政治問題としてとり上げられておりますが、本市としましては、これらの施策を待つまでもなく、今後の財政運営に当りましては、極力赤字の解消に努める方針を堅持し、自力をもつて健全財政の早期確立を図りたいと思っております。

市民の皆さんにも本市の行政に対しよく御理解をいただき、今一層の御協力を賜わるようお願いいたします。